

KIRABOSHIインタビュー……

経営を物語る ②1

取材：桂太郎 写真：穴倉とおる

株式会社Litm

代表取締役

相澤利春氏



不動産業のリソースを活かし、 eスポーツ市場へ新規参入。 ゲームの力で、地域の価値を高めたい。

相澤土地株式会社で取締役として働く傍ら、プロのeスポーツチーム「Meteor」(ミューテア) (日本語で「流星」) を立ち上げ、運営を行う相澤社長。不動産業からeスポーツへ参入した、その狙いとは。

賞金総額6億円！
成長中のeスポーツ市場

— eスポーツと聞くと、「ストリートファイター」を連想しますが？

相澤社長 日本でお馴染みの格闘型対戦ゲーム『ストリートファイター』ですね。巨大なモニターが設置されたステージ上でプレイヤーが戦い、観客席から大きな歓声が上がることがテレビなどで流れたので、ご覧になった人も多いと思います。

— 御社が運営するMeteorも、「ストリートファイター」などで活躍しているのですか？

相澤社長 一口にeスポーツと言っても、『ストリートファイター』のような1対1で戦う格闘、銃で敵を倒すシューティング、野球やサッカーといった、それぞれのゲームに大会があり、そのゲームを専門とするチームがあります。
プロ・アマ含めると国内だけでなくとも数百チームが存在するので

はないでしょうか。国内の競技人口は360万人、世界では1億人と言われています。

Meteorは、世界的に人気の高い『Apex Legends』というバトルロイヤルゲーム専門のプロチームです。世界大会出場経験のある実力者を集め、結成しました。
— eスポーツチームの運営とは、具体的にどのようなことをされているのでしょうか？

相澤社長 リアルスポーツのチーム

運営と、やっていることは基本的に同じです。

選手を獲得して、育成し、大会に出て賞金を得る。選手だけでなくチームも所属していますし、当社には現在いないのですが、アナリストと呼ばれる分析担当もいます。
どうやって相手に勝つか、チームで戦略を立てて、日々必死に練習を積み重ねています。

この話をすると、「これまで知らなかっただけで、eスポーツは遠い存



2022年10月に開催された「流星杯 -Meteor J:COM Cup-」。

在じゃないんだな」と思ってもらえることが多いですね。

——主な収入源は、賞金になるのでしょうか？

相澤社長 多くを占めるのはスポンサー料ですが、大会の賞金ももちろん大切な収入源です。『Apex Legends』の世界大会は、世界79の国と地域から選手が参加し、賞金総額は6億円です。

——6億円!? かなり高額ですね？

相澤社長 eスポーツ市場の盛り上がり、賞金の額に現れているのかなと思います。

そのほかの収入源はイベント収入、チームグッズの販売収入などになります。動画配信による広告収入も、大きな収入源の一つです。

——どういった動画を配信されているのでしょうか？

相澤社長 ゲームの実況動画が多いですね。弊社はプロゲーマーのほかに、ストリーマーと呼ばれる動画配信者10名と契約をしています。タレント事務所のようなもので、ストリー

マーと専属マネジメント契約をして、彼らが請け負う案件の報酬をシェアしています。

大手と同じでは生き残れない。地域密着を武器にする。

——eスポーツ事業に参入したきっかけは、何でしょうか？

相澤社長 世の中の流れと、自分のやりたいことが、タイミングよく合致したことがきっかけです。

湘南地区を拠点とする不動産会社で取締役を務めていて、もともと、不動産以外の新規事業にチャレンジしたいという考えを持っていました。

そんななか、2020年に入り新型コロナウイルス感染症が流行したことで、不動産以外の分野へ事業を分散し、経営リスクを回避する必要を感じたのです。

ではどんな分野でどんな事業を立ち上げると考えたときに、コロナ禍でオンライン市場が伸びると予測できたこと、そして自分が好きで情熱を傾けられることがeスポーツ



小田原市が後援するeスポーツ大会を運営したり、高等学校のeスポーツイベントの企画を行い、地域を盛り上げている。



だったため、その事業への参入を決意しました。

——具体的に、どうやってチームをつくったのでしょうか？

相澤社長 正直、最初はかなり手探りでした。Googleで「eスポーツ プロチーム つくり方」と検索

して調べるといって誰でも思いつくような手段でのスタートでした。愚直に調べ続けていると、運良く選手を^{あっせん}斡旋してくれるサイトに出合い、「プロチームをつくりたいんです！」と即行動。選手を紹介してもらって契約を交わすことができたのです。

2021年10月にMeteorを立ち上げ、2022年4月に事業を独立させる形で、運営会社^{リットム}Limitを設立しました。

——不動産とeスポーツは、全く別の業種ですね？

相澤社長 業種は異なりますが、不動産で培ったノウハウやつながりがeスポーツチームの運営に活かせると考えています。

具体的には、Meteorの戦略の一つに「地域性」があります。立ち上げ当初から、「Meteorといえば湘南」というブランディングをしたという考えがありました。

不動産業でさまざまな方と知り合ってきたこと、特に地域の方とのつながりが多かったため、この関係

性を活かせると考えたからです。

——地域密着型のeスポーツチームを目指している？

相澤社長 そう!! 昨今、行政の観光課などが、地域おこしにeスポーツを活用する事例が多くあります。また全国の高校や大学でeスポーツ部がつけられていて、湘南エリアの学校からイベントに呼ばれることもあります。

弊社は新規参入の小さなチームですから、大手と同じ運営をしていても伸びません。では、Limitらしいチームの運営方法と考えたときに、不動産のリソースを活かしてオンラインのイベントをたくさん開催したり、地域の学校や企業とのタイアップを積極的に行うといった、地域に根ざした地道な活動が最適だと思いました。不動産業の経験があるからこそ、こういった活動を通じた地域との結びつきが可能になったのです。そのうえで、競技では世界大会に出場して上位を狙っていく。この両軸が重要だと考えています。

将来的には、地域密着eスポーツチームとして実績をつくり、地域の発展に貢献したい。eスポーツチームがあることで地域の価値を高めたと思います。

不動産業で培ったつながりが、eスポーツチーム運営に生きる

いまできることを積み重ねる

——経営者として、心がけていることはありますか？

相澤社長 私自身や会社のリソース



で、できることを無理せず少しずつ増やしていくようにしています。関わってくださる企業さまと一緒にできることで、お互いにとって一番いいところを組み合わせ、一つひとつ強みを増やしていきたいですね。

——非常に堅実ですね。

相澤社長 いまできることの少し外というか、できることを少しずつ広げた結果、新しい事業ができたり、協業の話が出て

感動を与えられる チームをつくり、 eスポーツの可能性を 広げたい

きたりするものだと思感しているからです。いまは、eスポーツプレイヤーの活動機会が少しでも増えるように、新しいチャレンジを積み重ねています。

——現在、協業で進んでいるプロジェクトはありますか？

相澤社長 いくつかありますが、一つがeスポーツ選手のセカンドキャリア支援です。採用プラットフォームのeスポーツ選手版と

いったところででしょうか。リアルスポーツも同じですが、スポーツはあまりに專業すぎて、培った能力がビジネスの何に活かせるかが見えづらいものです。たとえば、「チームの指揮を執っていました」「戦略を立てるのが得意です」と伝えるところで、「どうせゲームでしょう？」 実務では役に立たない」と思われてしまいう可能性が現状は高い。

そこで、ゲームプレイヤーのスキルを可視化して一般の人にも伝わるフォーマットをつくれれば、世間がeスポーツプレイヤーを見る目も変わるはずですよ。

プロのeスポーツ選手が引退する年齢の平均は20代。セカンドキャリアに苦しむ選手は、eスポーツが普及するほどに増えていくでしょう。この問題を改善していきたいです。——プレイヤーを支えたいという想いが強いのですか？

相澤社長 チーム名の Meteor は日本語で『流星』ですが、これは「eスポーツプレイヤーを輝かせる」という想いを込めて名付けました。

チームを立ち上げたときに、選手の契約が不当だったり、ギャランティが少なくなりにシヨックを受けたのです。有名な選手でもこの金額なのか、と。この状況を変えていきたいと強く思いました。

選手に正当な報酬を約束し、ゲームに集中できる環境をつくって、彼らの魅力が一層引き立つようなチャ

レンジを支援していく。誰もがプレイヤーとして挑戦でき、活躍でき、感動を与えられるチームをつくることで、eスポーツの可能性を広げていきたいと思っています。



相澤社長と渡邊頭取 / 2022年9月、きらばし銀行は Litm とオフィシャルスポンサー契約を締結しています。

Meteorからのお願い

eスポーツ業界の発展、地域貢献へのチャレンジをサポートしていただける企業さまからのご協賛を賜りたくお願い申し上げます。

スポンサー協賛に関するお問い合わせは、弊社HP(二次元バーコード)の「Contact」からご連絡ください。



株式会社 Litm

【本社】神奈川県藤沢市辻堂 神台 2-2-1 アイクロス湘南 5E

【創立】2022年

【従業員数】3名

【事業内容】eスポーツチーム Meteor の運営/eスポーツイベントの主催、運営協力/オリジナルブランドのアパレル事業

きらばし銀行 湘南台支店会員